

旧上瀬谷通信施設地区 まちづくりニュース

旧上瀬谷通信施設地区で進めているまちづくりの状況をお知らせするために、「旧上瀬谷通信施設地区まちづくりニュース」を発行しています。GREEN×EXPO 2027(横浜グリーンエキスポ)や、その後のまちづくりの工事進捗等をお知らせします。

横浜グリーンエキスポに向けた公園整備の状況



横浜グリーンエキスポ会場区域

横浜グリーンエキスポは、令和9年(2027年)3月19日～9月26日に、旧上瀬谷通信施設地区のうち、将来、「防災・公園地区」となる場所を中心に開催されます。(具体的な会場区域は、左図の青点線のとおり)

会場跡地の大部分は、「環境」と「防災」をテーマとした(仮称)旧上瀬谷通信施設公園となる予定です。現在、上瀬谷の自然を生かしながら公園整備を進めています。

上瀬谷の自然環境を生かした公園整備

【既存樹木を生かした公園整備】

上瀬谷の歴史を長年見守ってきた既存の樹木を生かすために、地区内にある約1,600本以上の樹木を、よりよい生育場所へ移植し、育ちやすい環境を整えています。

また、公園の園路は、既存の樹木に影響がないように、園路の形を工夫しています。



よりよい生育場所へ移植した樹木



既存の樹木に配慮した園路



公園の園路にあるバイオスウェル

【グリーンインフラの整備】

グリーンインフラとは、コンクリートやアスファルトによる従来のインフラだけでなく、植物や土、水といった自然の力を活用し、雨水の貯留・浸透、気温上昇の抑制など多様な機能を持たせる仕組みです。

代表的な施設として、園路には、芝生や多年草に覆われたバイオスウェルを設け、雨水をゆっくり土に浸透させることで、周りの植物にも水が行き渡り、公園内の植物が健全に育成されます。

【多様な生物が暮らす水辺へ】

公園区域内を流れる相沢川を、コンクリートの護岸から、自然素材を活用した水辺に整えると同時に、隣接する水田や畑の整備を進め、谷戸の原風景の再生に取り組んでいます。

また、地区内の希少な生物をはじめ、多様な生物が、よりよい環境で暮らし続けられるよう配慮しています。水辺に隣接した「ワンド」と呼ばれるたまり池は、トンボやカエル等が産卵したり、小魚の稚魚が成長する場所になります。



整備前



整備後(自然石による護岸やトンボ等のすみかとなるたまり池「ワンド」)

季節の移ろいを感じられる休憩スペース

公園内で楽しめる花や木



桜

アジサイ

サルスベリ

紅葉

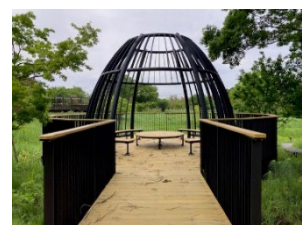
風景を楽しむことができる特徴的な休憩スペースを園内各所に設けており、来園された方が、上瀬谷の自然環境や季節の移り変わりをゆったりと満喫していただけます。



葉っぱの葉脈が屋根になった休憩場所



風景を切り取るパーゴラの休憩場所



風が抜け、光の陰影を感じられる休憩場所



寝そべることのできるベンチ

横浜グリーンエクスポのVillage出展、テーマ営業出店についてご紹介します。また、会場内では、会期中、季節ごとに表情を変える花々をお楽しみいただけます。※現時点でのイメージであり、今後、変更となる場合があります。

Village 出展

カーボンニュートラルやネイチャーポジティブなど、新たなグリーン社会実現に向けた企業による大規模な出展。独創的な展示や体験コンテンツを展開します。

A 東急グループ とうきゅうグループ館



©とうきゅうグループ館
『GREEN LIFESTYLE 2050』をテーマに、自然と都市が融合する新しいライフスタイルの提案と、皆さんとともに未来を創る共創体験を提供します。

E 三菱グループ 三菱みんなの未来館



©三菱国際園芸博覧会総合委員会

幸せな明日に向けて、「自然と人、社会との共生」の重要性を楽しみながら再確認して、みんなで取り組むきっかけに繋がるような展示を目指します。

G 大和ハウスグループ 大和ハウスグループ エンドレスハートパーク



提供: 大和ハウス工業株式会社

We Build Future Living 原点から未来へ。風・太陽・水と緑が織りなす万華鏡のような重なりと変化が表す未来の景色を、ぜひご体感ください。

I 竹中グループ 竹中グループ くるくるく



©竹中工務店

リジェネラティブでウェルビーイングな未来へめぐるいのち・めぐるかたちをテーマに素材を通じたいのちの循環をお楽しみください。

B KTグループ Mobi+ (モビタス)



KTグループ

必要な時に必要な場所へ「くるまたち」が「エネルギー」を運び、皆さまを笑顔にします。

F 鹿島建設株式会社 KAJIMA TREE



鹿島建設株式会社

KAJIMA TREE それは自然と人の明日の物語。大阪・関西万博の大屋根リングの木材が、先端技術により新たな命を吹き込まれ、GREEN×EXPOのシンボルとして生まれ変わります。※鹿島は大阪・関西万博の大屋根リングの木材の譲渡先です。

H 東邦レオ株式会社 やさしくなりたい。STUDIO



©Yuko Nagayama & Associates / TOHO-LEO Co.

大阪・関西万博パナソニックグループパビリオン「ノモの国」をリユース。「8歳の大人」をテーマに、大人も、子ども、やさしくなりたい。

J 住友林業株式会社 住友林業館「ひゃくの森」



住友林業株式会社

1691年の創業以来、森や木、植物と歩んできた住友林業ならではの展示・体験を提供します。

C NTT東日本株式会社 NTT EAST 館



©NTT東日本株式会社

NTT東日本は「産業・自然・文化」が調和し、幸せがめぐる“Well-beingな社会”を体験型で表現いたします。

D 株式会社大林組 大林組 モリソラミライ



株式会社大林組

大林グループが目指す「地球・社会・人」の調和した世界観を是非ご体感ください。

横浜グリーンエクスポ 会場地図

提供: GREEN×EXPO 協会



K 相鉄グループ SOTETSU PARK



提供: 相鉄グループ

子どもたちが自然と親しみ、遊びながら学べるエリア「SOTETSU PARK」は、「未来」の象徴となる鉄道車両を中心にして街と人と生きものが共生する未来を表現します。

L 清水建設株式会社 シミズ 森のまち



提供: 清水建設株式会社

『シミズ 森のまち』は、「見て、触れて、つくる」を通じ、みんなで地球環境について学び合う、子どもたちが主役の体験の場です。

テーマ営業出店

テーマに合わせた展示とともに飲食等の提供がされます。

M JAグループ 「いただきます」を生むチカラ



国産の農産物の魅力や、日本の食と農について触れていただける時間を提供します。

N 株式会社丸兆 HONEY HARMONY GARDEN



小さな命のつながりを体感し、自然と食の未来を考えるきっかけを届けます。

O 明治グループ ORAGA VILLAGE 未来のふるさと



未来のふるさとが、ここにある。自然の恵みを享受して成り立つ明治グループの取組の原点、里山を見に来てみませんか？

P ヤマザキパングループ ヤマザキ「明日の明るい食卓」館



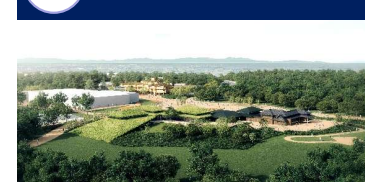
毎日の食卓に対する安心と、明日やその先の未来の食卓に対する期待を、展示や体験を通じて感じてください。

Q テーマ館



植物たちの知られざる能力と、生命同士の複雑で巧妙なつながりについての最新の映像技術と研究成果をアートとエンターテインメントの掛け算により紹介します。

R 園芸文化館



江戸時代から受け継がれてきた日本独自の園芸の美意識と技術を、実物や体験を通して伝えます。

S 神奈川県



“Vibrant INOCHI”一人ひとりの“いのちが輝く”をメインテーマに、体験型・参加型の展示や催事を提供します。

T 日本政府苑



「日本の自然観を再考し、未来へ進む」をコンセプトに、自然と人との営みや共生の姿、みどりがもたらす未来の姿を展示します。

①建物空間を活用した発信拠点



国産木材を活かした自然と調和するデザインで、太陽光などの再生可能エネルギーを活用した環境に優しい施設設計。来場者の暑熱対策として、ミスト等を設置。

ライフスタイル・ゾーン イメージ



グリーン社会の実現につながる新しいライフスタイルを、遊び・楽しみながら体験できる場。廃材等から創り上げる展示を象徴的に配置し、「身近なサーキュラーに出会う驚きの体験空間」を創出。

②フィールドを活用した活動拠点

ウェルカム・ゾーン

① ウェルカムガーデン

出展の入口を彩る、市内産植物などを活用した横浜ならではのガーデン



アクション・ゾーン

② みんなでつくるフィールド

子どもたちとのたい肥づくりや環境活動団体をはじめとした市民の皆様の参加によりつくるガーデン

③ 活動広場

様々なイベントやワークショップなどを行う芝生広場

④ 観察とあそびの森

既存の樹林を生かし身近な生き物にふれることを通して、生物多様性と暮らしとの関係を学び・再発見するエリア

フューチャー・ゾーン

⑤ 未来志向フィールド

生物多様性や資源循環に配慮し、環境負荷低減を実践するガーデン

横浜市出展ボランティアを募集中！

締切 8/14(金)

横浜市出展と一緒に創り上げる1,000人の仲間を募集しています。多くの皆様のご応募お待ちしております。

【募集対象】 令和9年4月2日時点で、満15歳以上かつ市内在住・在学・在勤の方

種類【募集人数】	プログラム運営補助【約 700 人】	ツアーガイド【約 100 人】	フィールドづくり【約 200 人】
活動内容	様々な体験プログラムの運営サポート	草花の魅力や生き物との共生等を来場者に案内	花や緑の育成・管理
活動場所	建物空間を活用した発信拠点 フィールドを活用した活動拠点	フィールドを活用した活動拠点	フィールドを活用した活動拠点
活動日数 (開催期間中)	1日以上	5日以上	5日以上
活動時間	1日あたり約4時間		

ご応募は
WEBから



県立瀬谷支援学校で桜の接ぎ木イベントを行いました



海軍道路の桜を次世代につなぐため、令和8年2月17日に、「桜の記憶の継承」として、県立瀬谷支援学校の中学生と高校生による「海軍道路の桜の接ぎ木イベント」を行いました。

JA横浜の皆様のご指導のもと、地域の方等を含めて、総勢40名以上の方が参加し、海軍道路の桜を接ぎ木しました。

接ぎ木により育てた桜は、今後、学校敷地内等に植樹する予定です。



接ぎ木の様子

■お問合せ先

横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局 上瀬谷整備事務所 上瀬谷整備推進課
〒246-0003 横浜市瀬谷区瀬谷町5810-6
電話:045-900-0594 FAX:045-550-4098
E-mail : da-kamisui@city.yokohama.lg.jp

過去のニュースも
ご覧いただけます

